



News Release

報道関係者各位

2005年12月5日
中間法人 知的財産教育協会

「知的財産検定」の累計受検者数が、1万人を突破

2006年度から、「科目受検制度」を導入

～ 受検者・企業ニーズに合わせ、知財実務の学習・能力評価の機会を幅広く提供 ～

中間法人 知的財産教育協会（東京都港区、代表理事：棚橋祐治）は、「2005年第2回知的財産検定」（11月6日実施、後援：日本弁理士会）の結果、および2006年度より2級に新設する「科目受検制度」について、発表しました。今回実施した検定で累計受検者数は、2004年3月のスタート以来、製造業の知的財産部門、法務部門、研究開発・エンジニア部門を中心に1万人を突破。「科目受検制度」を新たに追加採用することで、現在様々なビジネスシーンにおいて必要とされている知的財産の実務知識を学ぶ機会、能力を客観評価する機会を、受検者のニーズに合わせて提供することが可能となり、今後、より幅広い層からの受検が見込まれています。

なお、次回検定は、特別回として2006年3月19日（日）に東京と大阪で実施します。「科目受検制度」については2級（特許）を実施し、その他科目についても同年度内に随時追加（2006年第3回を予定）していく予定です。

「特許」「意匠・商標」「著作権・不正競争防止法・独占禁止法等」の科目選択が可能に

「2005年第2回知的財産検定」は、全国6都市（東京・大阪・札幌・名古屋・岡山・福岡）で実施し、受検者数は4,114人で、引き続き増加を続けています。「特許・実用新案」「意匠・商標」「著作権」「民法・独占禁止法・不正競争防止法等」について、実務で起こる課題に対し「問題発見能力」を評価する2級の受検者数は、3,565人。知財実務経験者を対象に、「特許」について実務で起こる課題に対し「問題解決能力」を評価する1級の受検者数は、549人となりました。企業が主に社員への知財研修として採用している「団体受検制度」の受検者も915人と増加傾向です。

今回、当協会の目的である知的財産に関する知識の普及と啓蒙を促進させ、より受検者が学習しやすい環境を整えるために、2006年第1回より従来の2級試験に追加して「科目受検制度」を導入することを決定しました。この「科目受検制度」は、2級の出題領域を「特許」「意匠・商標」「著作権・不正競争防止法・独占禁止法等」と、3科目に分割し、それぞれの領域の科目試験を実施するものです。この制度により、従来の2級試験を受検する方法に加え、科目ごとに受検することで、最終的に2級認定を受けることも可能となります。既存の2級試験で、基礎となる実務知識が幅広く身に付く一方、企業からの「特許」に特化した出題への高いニーズや、学習到達度の指標を求める弁理士試験受験生のニーズにも応えられるものとなっています。

政府の推進する知的財産人材の育成を、教育環境の面から後押し

国際競争力の源泉として、知的財産権を重要視した政策が政府主導で推進される中、知的財産戦略本部が6月に発表した「知的財産推進計画2005」においても、人材育成は大きな課題となっています。専門人材を10年間で現在の6万人から12万人へと拡大する目標に対し、同本部「知的創造サイクル専門調査会」を中心に、知財人材の増加と質の向上を、官民が一体となって取り組むための具体案が現在でも検討されています。

当協会でも、新制度の導入により、知的財産に関する知識の普及と啓蒙をより促進させ、本検定を通じて国家の推進する知財専門家の育成に貢献してまいります。



「2005年第2回知的財産検定」結果

受検者数

	2004年第1回	2004年第2回	2004年第3回	2005年第1回	2005年第2回	合計
1級			519	369	549	1,437
2級	1,298	1,555	2,552	3,037	3,565	12,007
合計	1,298	1,555	3,071	3,406	4,114	13,444

団体受検申込団体数/人数

		2004年第1回	2004年第2回	2004年第3回	2005年第1回	2005年第2回
1級	団体数			15	9	9
	人数			98	41	62
	最多人数			20	12	19
2級	団体数	12	23	34	41	37
	人数	107	246	354	629	853
	最多人数	31	36	45	147	226
合計	団体数	12	23	49	50	46
	人数	107	246	452	670	915

< 主な団体受検企業 >

キヤノン株式会社、味の素株式会社、アルプス電気株式会社、JUKI株式会社、TDK株式会社、旭化成株式会社、大日本スクリーン製造株式会社、東京電力株式会社、グローリー工業株式会社、株式会社アドバンテスト、パイオニア株式会社、京セラ株式会社、住友電気知財テクノセンター株式会社、住友重機械工業株式会社、シャープ株式会社、富士電機リテイルシステムズ株式会社、FDK株式会社、東芝インフォメーションシステムズ株式会社、市光工業株式会社、田村プラスチック製品株式会社、三菱マテリアル株式会社、株式会社プロパティ、大阪工業大学、国立大学法人大阪大学、旭化成ライフ&リビング株式会社、大倉工業株式会社、株式会社クレハ 等

1級検定結果 (「認定」は、2級合格を前提とする。2級合格でない場合は「評価」となる。)

		人数	割合
認定	1級	27	5.2%
	準1級(評価A)	42	8.1%
	準1級(評価B)	59	11.3%
	準1級(評価C)	79	15.2%
	不合格(評価A)	91	17.5%
	不合格(評価B)	110	21.2%
	不合格(評価C)	91	17.5%
評価	1級合格に相当	2	0.4%
	準1級(評価A)に相当	2	0.4%
	準1級(評価B)に相当	3	0.6%
	準1級(評価C)に相当	5	1.0%
	不合格(評価A)に相当	2	0.4%
	不合格(評価B)に相当	3	0.6%
	不合格(評価C)に相当	4	0.8%
合計		520	100.0%



2級検定結果

	人数	割合
2級	1329	41.1%
準2級	1162	35.9%
不合格	746	23.0%
合計	3237	100.0%

「2006年第1回知的財産検定」実施概要

<個人受検>

実施日 : 2006年3月19日(日)
 実施試験 : 1級(特許)、2級、2級科目試験(2級(特許))
 開催地 : 東京、大阪 (詳細な受検会場については、別途発表)

Web申込(受検料は税込)

	1級(特許)	2級	2級科目試験(2級(特許))
受検料	15,750円	7,875円	4,725円
申込期間	2005年12月12日(月)13:00~2006年2月16日(木)24:00		

郵送申込(受検料は税込)

	1級(特許)	2級	2級科目試験(2級(特許))
受検料	16,800円	8,925円	5,775円
申込期間	2005年12月12日(月)~2006年2月14日(火)事務局必着		

団体受検には、各団体が設置する施設を利用した非公開会場での受検も可能。実施日については、2006年3月20日(月)午後もしくは3月22日(水)のうち、任意の時間帯

「科目受検制度」について (詳細は当協会ホームページをご覧ください)

科目試験の種類と名称 (3科目すべての科目試験に合格した後、申請により2級に認定)

名称	開始時期
知的財産検定 2級(特許)	2006年第1回(2006年3月)
知的財産検定 2級(意匠・商標)	2006年第3回を予定
知的財産検定 2級(著作権・不競・独禁等)	2006年第3回を予定

試験概要

問題数 : 各25問
 制限時間 : 各40分
 テスト形式 : 択一マークシート方式

【本件に関するお問い合わせ】

知的財産教育協会 広報事務局
 E-mail: info@ip-edu.org
 URL: <http://www.ip-edu.org/>
 TEL: 03-5545-1726 FAX: 03-5545-1721